

周作クラブ会報

(第57号)
2014年11月20日発行

周作クラブ

◆主な記事◆

総会関連報告	1・4・5面
「周作忌」報告	2・3面
長崎文学館便り	7面
周作クラブ長崎	8面
遠藤周作学会報告	9面

報告——第14回定時総会

さらなる充実と発展に向けて

事業計画や新役員・委員など承認

2014年9月29日(月)午後4時半から、東京神田一ツ橋・如水会館において「周作クラブ」第14回定時総会が開かれた。出席者28名、委任状203名(会員総数は411名)で総会は成立し、予定された議題をすべて審議・承認して、5時に終了した。



なごやかな雰囲気総会に参加された方々

加賀乙彦会長が所要のため総会には間に合わない旨が報告され、高橋千劍破幹事の開会宣言で今年度の総会は定刻に開始された。

まず、会員担当の宮辺尚幹事から、現在の会員数についてこの1年間における入会者は33名、退会者は47名で、総計では14名の減少となったことが報告された。したがって9月1日現在の会員数は411名となる。

このあと幹事会からの推薦で岡田厚美さんが議長として選出され、議事進行にうつった。

●第1号議案——前年度事業報告

(高橋千劍破幹事)

昨年9月29日の「周作クラブ」総会から本年8月までの全事業は、9月の周作忌、1月の新年会、4月の文学セミナー、5月の遠藤文学原点の旅(長崎から佐賀・名護屋城と伊万里、有田)、そして3回の会報発行(決算日を繰上げたため。1年間ではこれまで通り4回)であることが報告された。(詳細は会報4ページを参照)

●第2号議案——前年度会計報告

(宮辺尚幹事)

昨年の総会で決算日が1か月繰上げられたことから、7月末日までの決算報告となった。

前年度の収入は、前々年度からの繰越をふくめて2,109,567円、支出は1,131,340円。したがって今年度への繰越金は978,227円となること、さらにその内訳が報告されたのち、会計監査の光武喜代人さんから監査報告があり、拍手で承認された(詳細は会報5ページ参照)。

●第3号議案——役員・委員について

(加藤宗哉幹事)

今期は役員の改選の年にあたり、あらたな役員・委員が報告され、承認された。新委員は1名(南紀洋子さん)だが、会報副編集長の金子コウさんが

退任したため、あらたに田村百合子さんが総務委員から転任し、会報副編集長の任に当たることになった(次ページに役員一覧)。

●第4号議案——今年度事業計画

(高橋・加藤両幹事)

会報の発行(3回)と、1月の新年会、4月の文学セミナー、5月の遠藤文学原点の旅(遠藤ゆかりの地・神戸と有馬温泉。4ページ参照)、などが発表された。

●第5号議案——今年度予算

(宮辺尚幹事)

今年度の収入見込は、2,209,537円、支出見込は1,547,800円、予備費が661,737円で、その内訳が説明され拍手で承認を受けた。(5ページ参照)

以上ですすべての議案の審議を終了した。つづいて周作クラブ長崎の代表世話人・高尾直子さんが挨拶、関西周作クラブ横井勲さんからの書面による報告も代読された。

その後、出席会員から、クラブ運営に関するボランティア活動を行なう委員たちへのねぎらいの言葉もあり、なごやかな雰囲気うちに第14回定時総会は午後5時に閉会した。

(記・加藤宗哉／写真・田村百合子)